



大谷翔平選手のインスタグラムより

「野球しようぜ！」大谷翔平選手からの贈り物

おたにしようへい

1月16日、メジャーリーグで活躍する大谷選手から寄贈されたグローブ贈呈式が太田小学校で行われました。市内全ての小学校に3つずつ寄贈され、素敵な贈り物となりました。



能登半島地震被災地へ給水車を派遣

1月10日、令和6年能登半島地震により甚大な被害を受けた石川県に、本市が保有する給水車と、上下水道部の職員3名を派遣しました。



タスキをつないでゴールを目指せ！

1月27日、めめま駅伝が開催されました！170チーム850人の選手が出演し、タスキをつなぎました。沿道からは応援の声や拍手が聞こえ、選手の力となっていました。



「埼玉パナソニックワイルドナイツ」
× 熊谷市消防本部

コラボポスターを作製しました！

3月1日から始まる春の火災予防運動に合わせて街中に貼り出され、住宅用火災警報器の設置を呼びかけます。



ご寄附を頂戴しました

くりはらけんしょう

12月19日、元市議会議長の栗原健舜氏から、多大なご寄附を頂戴しました。いただきましたご寄附は、本市の学校教育の充実のために活用いたします。



健やかに育ちますように、と願いを込めて

1月31日、成田星宮小学校で「まゆ玉飾り・あずき粥」体験が行われました。地域の方に教わりながら、子どもたちが餅で「まゆ玉」を作り、歴史や込められた思いを学びました。



市長
コラム てっちゃんの
ひとりごと

このコーナーでは、小林哲也市長が日々感じている思いや出来事などを隔月連載でお伝えしています。

「令和6年能登半島地震への支援」

令和6年能登半島地震から2か月が経ちました。

この度の地震により、お亡くなりになられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げますとともに、被災されました方々に心よりお見舞い申し上げます。

今回の被災地支援では、発災直後から本市の危機管理監に検討を指示し、準備を進めてまいりました。しかし、半島内の道路が寸断されて、思うように人員や物資の輸送ができないとの情報がありました。金沢市の友人からも「金沢市内には様々なものがあふれているが、能登には届けたくても届けられない。状況をよく見極めてから対応してほしい。」との話を伺いました。

その後、県とも調整して被災地支援の体制が整い、1月10日に輪島市へ2トンの給水車とともに本市職員3名を、15日には七尾市へ避難所の運営担当として1名を、2月4日からは農業集落排水の被害状況調査のため2名を、15日には2トンの給水車とともに4名をそれぞれ派遣しました。支援物資についても七尾市に、①アルファ米(きのこご飯)7,000食、②2リットル飲料水960本、③ブルーシート1,000枚を埼玉県トラック協会熊谷支部のご協力によりお届けしました。

また、本市にも被災地から二次避難先として避難されてきた方々がいらっしゃいますので、東日本大震災時に設立した「オール熊谷被災者支援ネットワーク」の義援金も有効に活用し、安心して暮らしていただけるよう取り組んでまいります。

引き続き、被災地の状況を見据えながら積極的な支援を継続してまいります。



給水車



被災地支援のため派遣した職員

読んで当てよう!
市報クイズ

今月の問題

次の〇〇に当てはまる言葉をお書きください。
「日本さくら名所100選」にも選ばれた〇〇〇〇を始め、市内にはさくらの名所がたくさんあります!

アンケート

- Q1 今月号市報の感想をお書きください。
- Q2 取り上げてほしい内容があればお書きください。

応募方法 ハガキまたは応募フォームに、住所・氏名・年齢・電話番号・今月の問題の回答・アンケートの回答を必ず明記し、3月31日(日)までにご応募ください。(1人につき1通)
※回答がないものは無効となります。
《応募先》〒360-8601 宮町2-47-1 熊谷市広報広聴課
※当選者の発表は、プレゼント引換券の発送をもって代えさせていただきます。



1月号の正解

ハウス

◆応募総数 103 通中 正解 95 通

今月のプレゼント

「韓国カフェ&キッチン ヨギヨポチャ」から『人気の「ミチヨ」を含むノンアルコールドリンク1杯』を20人にご提供します!

お店の方からひとこと

店内の音楽はもちろんK-POP!壁には韓国語で書かれた格言も!

担当者からひとこと

ネオンの看板やチャミスルボトルの装飾が施された店内はまるで韓国の屋台のよう。とろけるチーズにお肉をフォンデュして食べる「UFOチキン」など、料理も韓国感たっぷりです!



プレゼント例



店舗外観

【店舗情報】



韓国カフェ&キッチン ヨギヨポチャ
住所: 熊谷市筑波2丁目115 AZ熊谷5階
電話: 048-577-3023
営業時間: 11:00 ~ 23:00 (ラストオーダー 22:30)
定休日: 不定休

Instagram
@yogiyo_pocha.kumagaya



幼い頃から抱いていた夢
小学校入学と同時に地元新潟のクラブチームで始めたサッカー。スカウトを受けて、高校からジュビロ磐田U-18



感謝を忘れずチャレンジ!
すぎもと みつき
杉本 光希さん
ジュビロ磐田 (サッカーJ1) 所属 ゴールキーパー (立正大学出身)

で活動していました。チームメイトのレベルはとても高く、夢中でサッカーに取り組み、それまで漠然としていた「プロになりたい」という夢を具体的にイメージできるようなったのはこの時期でした。しかし残念ながら、トップチームへの昇格は叶いませんでした。

諦めなかったプロへの道

昇格できないと分かった時は、ものすごく悔しかったのを今でも覚えています。ですが、当時の実力ではそのままプロに進んでも通用しなかった、この先でまたプロになる夢を掴めるよう実力をつけなければ、と気持ちを切り替えました。

高校卒業後、より結果を出すことを求めて立正大学に進学しました。入学当初から「将来、プロとしてジュビロ磐田に戻ることを目標として掲げ、生活の全てをサッカーに捧げました。熊谷での寮生活を振り返ると、サッカーと勉強のことはかなり思い出します(笑)

さらなる成長を実感

大学では、世代別日本代表に選出されました。そこでは、長年、日本代表の正ゴールキーパーを務めた川口能活さん(現ジュビロ磐田 GK コーチ)から指導を受けました。川口さんの指導は全てが印象的で、身体強化や技術的なことなど、いろいろな面で自分を成長させることができましたと感じています。

夢への第一歩

大学や世代別日本代表での活動で実力・結果を積み重ねた結果、大学3年のときにうれしい一報が届きました。ジュビロ磐田からの入団オファーです！今までの自分の努力が報われた、間違っていないかったという思いと、これまでサッカーを続けさせてくれた家族や期待してくれてい



大学時代の杉本選手 ©RISSHO Univ.

た方々に応えることができました。うれしさがこみ上げました。私にとってジュビロ磐田は、プロへのきっかけを与えてくれた特別なチームです。その一員として戦えることは喜びでしかありません。

今の夢は「プロになる」から「プロとして活躍する」に変わりました。チームには川島永嗣選手(日本代表として4大会連続でワールドカップに参加)を始め、経験と実力のあるゴールキーパーが多く在籍しています。そんな中でも積極的にチャレンジし、まずは試合に出場することを目指して、さらに実力をつけていきたいと思っています。そして、ゆくゆくは日本を代表する選手に、子どもたちの憧れの選手になれるよう頑張ります！埼玉でも試合があるので、ぜひ応援に来てください！



練習場へ足を踏み入れる杉本選手 ©JUBILO IWATA

CHECK 知りたい情報 きっと見つかる

公式 SNS

- X(Twitter): @kumagayacity
- Instagram: @kumagaya_city
- LINE: kumagaya_city
- YouTube: 熊谷市公式チャンネル

人口と世帯 ●令和6年2月1日現在(対前月比)
■人口 191,895人(-179) 男 96,083人(-74) 女 95,812人(-105) ■世帯 89,964(-15)
「市報くまがや」3月号は、73,900部作成し、広告料収入を差し引いた印刷・製本に掛かる市の負担は、1部当たり24円です。

発行日 令和6年3月1日 ●発行 熊谷市
編集・広報・広聴課 〒360-0860 熊谷市宮町二丁目47番地一
048-524-1156(直) 048-520-2670
「市報くまがや」は、毎月1日(原則)に発行し、自治会を通じてお届けします。また、市役所・行政センター・公民館・出張所・公民館・駅連絡所などにもお配りしています。インターネットでも「市報くまがや」をご覧いただけます。(URL) https://www.city.kumagaya.lg.jp/